

『青葉区あざみ野地域アンケート調査2021』

報 告 書

2021年12月

やさしい街あざみ野実行委員会
(協力)学校法人桐蔭学園

分析Ⅰ（20－80代）

－認知症・地域関与に関する項目－

* こちらの調査項目は、全国データとの比較はありません。

調査概要

◆実施時期：2021年6月18日～7月31日

◆調査方法と対象：

①アンケート調査：対象は青葉区あざみ野地域の住民（主にあざみ野商店会の関係者、すすき野団地の住民）、その他青葉区、横浜市、川崎市、神奈川県、東京都在住の20歳以上の社会人を対象にした。

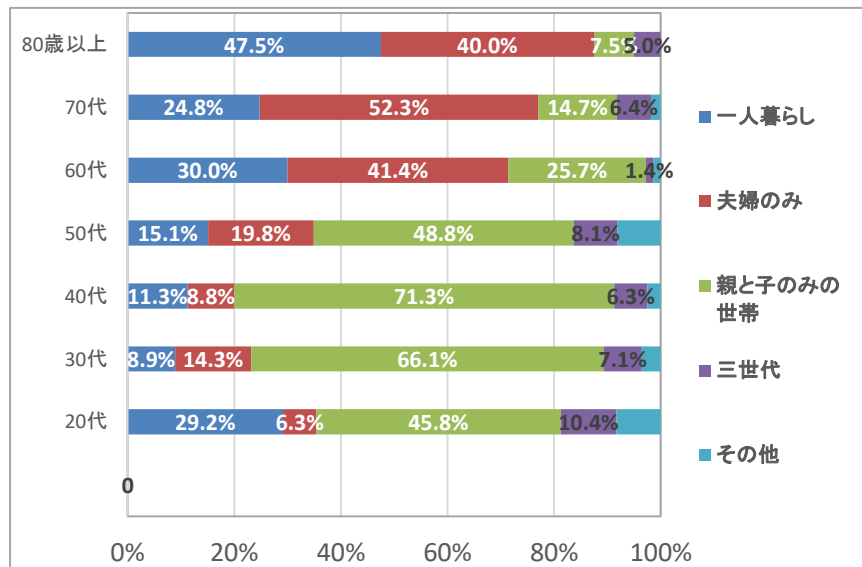
②調査方法：回答者には、調査用紙またはGoogle formsによるインターネット調査のいずれかでの回答を依頼した。

◆回収数：529名 有効回答数：493名

すべての調査項目に同じ回答を示した者、未記入が多くある者など、不適切な回答だと判断されたものを除外した。その結果、最終的な分析対象者は493名となった。

1) 年代別・性別

年代	男性	女性	答えたくない	総計
1.20代	28	20		48
2.30代	23	32	1	56
3.40代	25	53	2	80
4.50代	34	52	1	87
5.60代	22	49		71
6.70代	35	73	2	110
7.80歳以上	28	13		41
総計	195	292	6	493



◆分析Ⅰ：分析方法と目的：

上記の有効回答者を対象に、認知症に対する意識や理解度の違いを明らかにするために20代から80代の全年代別に比較した。また、地域への関心と認知症への意識との関連を明らかにすることを目的に、認知症サポーター養成講座への興味関心別に、認知症の人に対する態度・地域関与度・地域への効力感との関連を明らかにすることを目的とした。

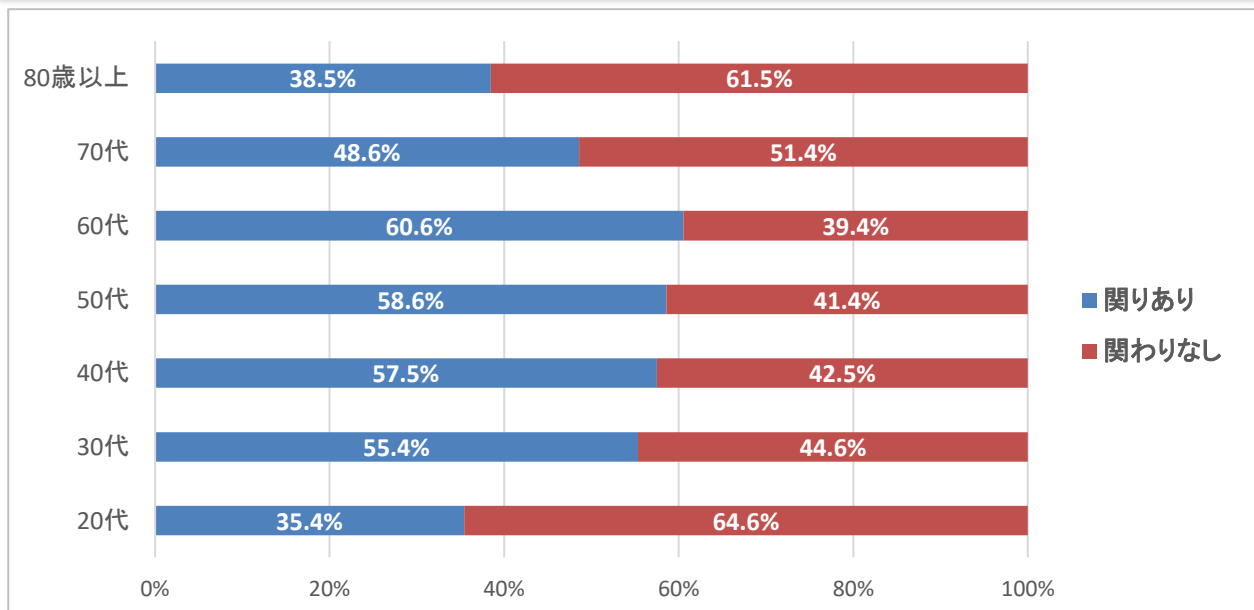
◆全体的所見

- ・20代においては、認知症や認知症サポーター養成講座に対する意識が低いことが明らかになった。
- ・高齢者の認知症と若年性認知症についての知識理解度については、若年性認知症の理解度が低く、さらに認知症サポーター養成講座の受講者でも若年性認知症の理解度が十分でないことが明らかになった。
- ・認知症の人に対する態度・地域関与度・地域への効力感については、それぞれ関連があることが認められた。

(認知症に関連する項目)

Q1. 認知症の人との関わりについて教えてください。(複数回答可)

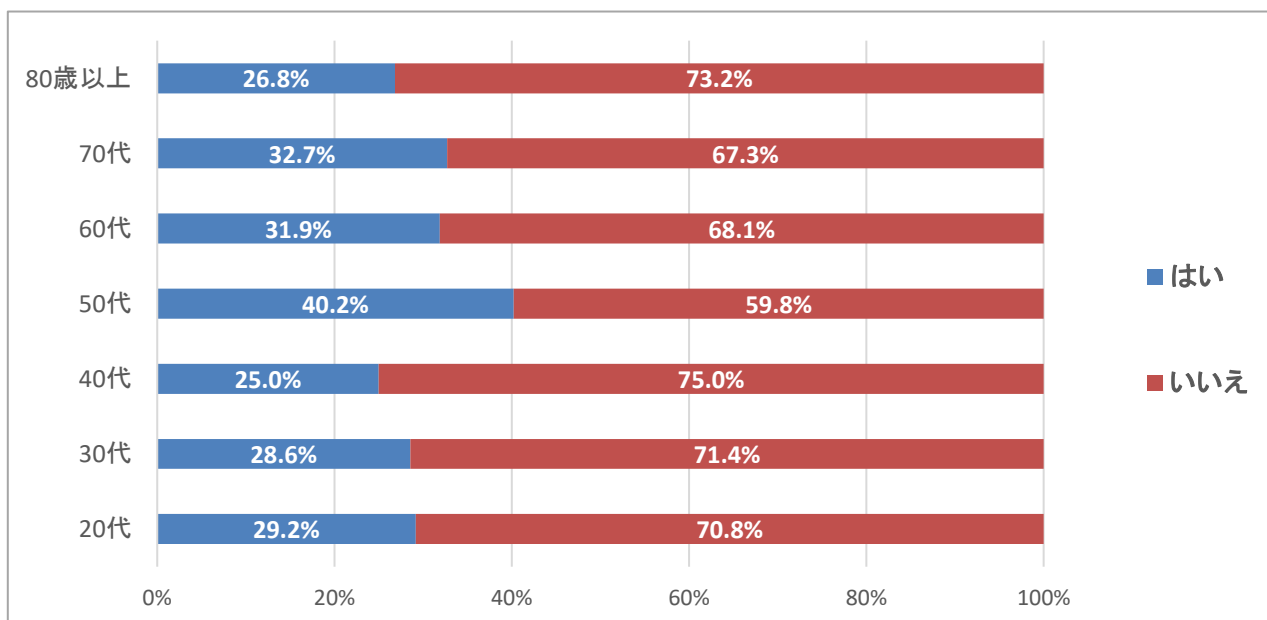
■身内、身近に認知症の人がいて、関わりがある（あった）、仕事やボランティア活動で関わっている（いた）と回答した人を、認知症とのかかわりがあった人として認知症とのかかわりの有無で分析した。20代では6割以上が認知症の方との関りがない。70代以上になると認知症の方との関りがないという回答率がまた、増加する。



(認知症に関連する項目)

Q2 あなたは、認知症サポーター養成講座をご存知ですか

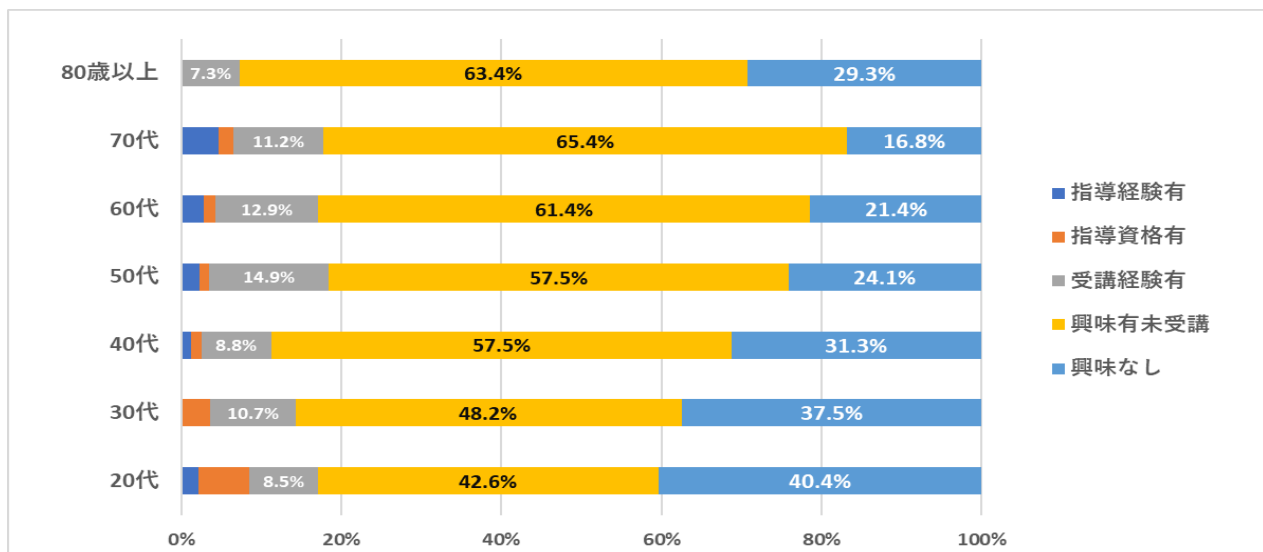
■認知症サポーター養成講座の認知度は年代を通じて低い結果となっている。50代で4割の認知度であるが、20-40代では、3割前後しか認知されていない（25.0-29.2%）。



(認知症に関連する項目)

Q3 あなたは、認知症サポーター養成講座に参加したことがありますか？いずれかに○印をつけてください。

- 若い年代ほど認知症サポーター養成講座に興味関心がないことが明らかになった。
- 興味はあるが受講したことがない人は、20代で42.6%、30代で48.2%、40代以上では約6割の人が興味はあるが未受講となっている。



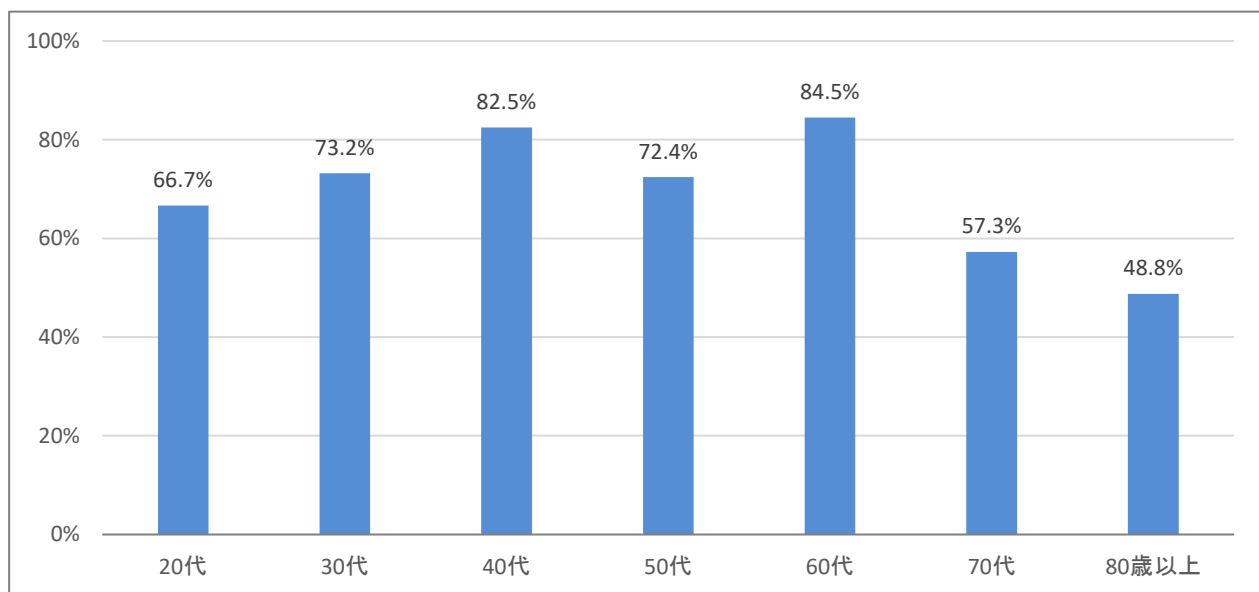
(認知症に関連する項目)

Q4 認知症に関する以下の項目についてどのように思いますか？

(認知症関連項目の理解度の問題)

【出典】: 認知症に関する知識尺度(金ら,2011)より抜粋

- 70代以上と20代の正答率が低い結果となった。若年性認知症と比較すると理解度は高かった。

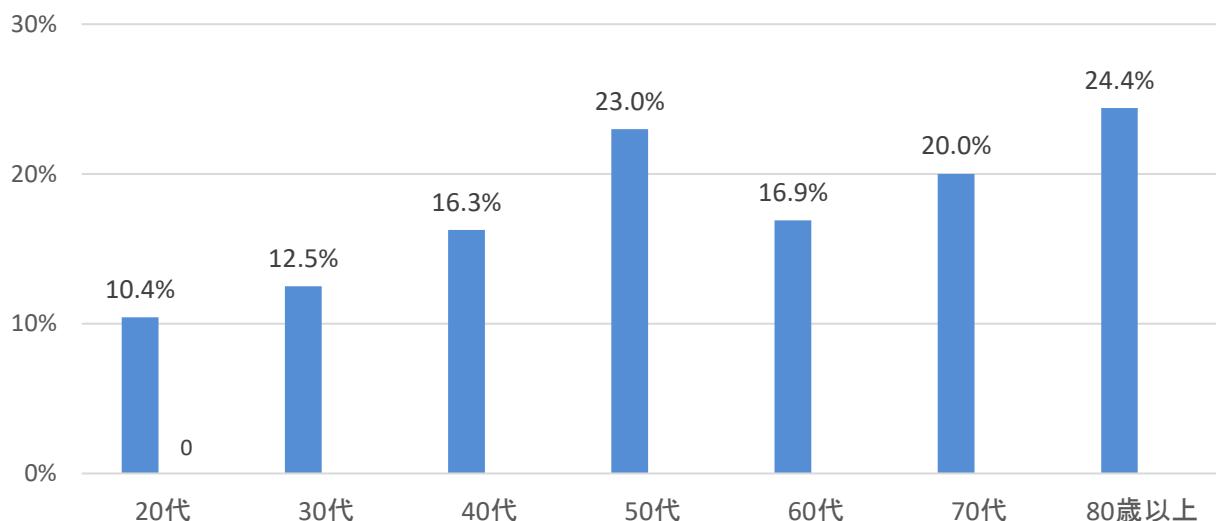


(認知症に関連する項目)

Q5 若年性認知症に関する以下の項目についてどのように思いますか？

参考：若年性認知症専門家による作問

■若年性認知症に関する知識の理解度は、高齢者の認知症の知識理解度と比較すると低い結果となった。なかでも20代30代が全年代のなかで低い結果となった。

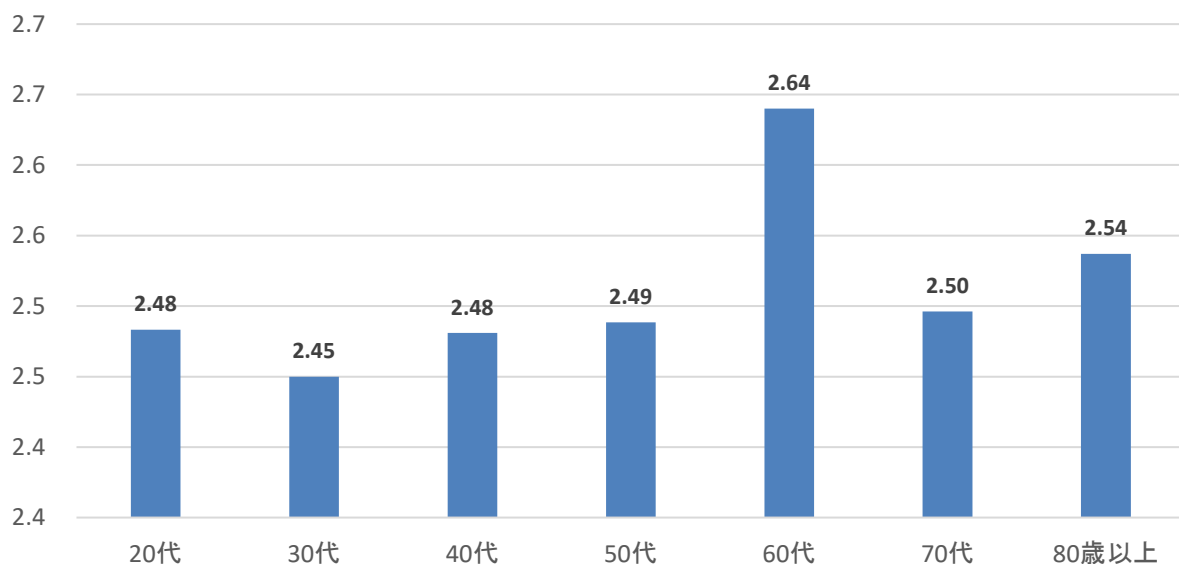


(認知症に関連する項目)

Q6 認知症の人に対する態度で以下の項目についてどのように思いますか？

【出典】：認知症の人に対する態度尺度(金ら,2011)より抜粋

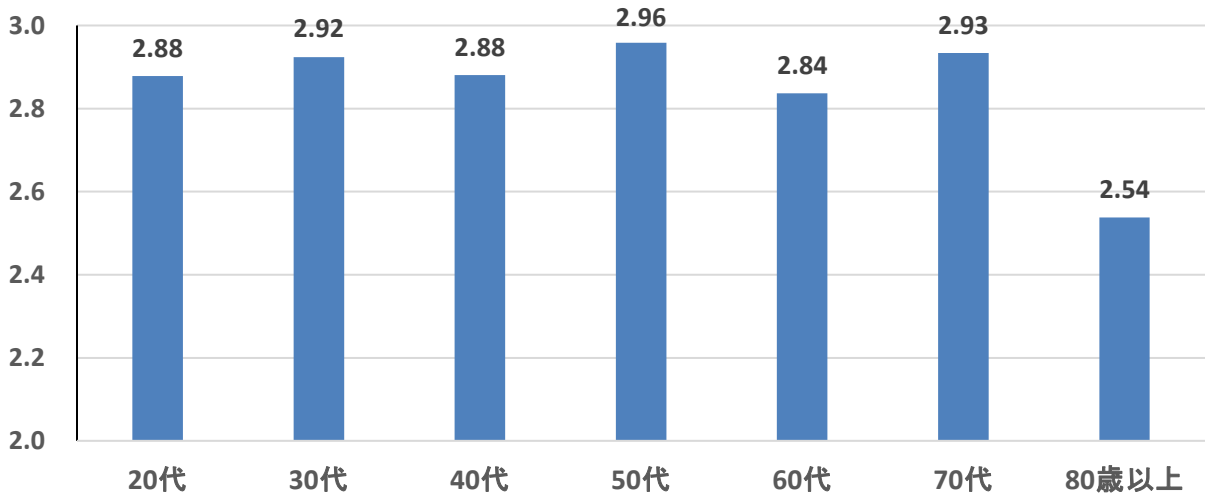
■家族に認知症の方がいた場合や、認知症の方に対する態度などを尋ねた項目。60代以外は認知症の人に対する態度では、ほぼ同様の結果となった。



(地域効力感に関連する項目)

Q12 次の文章はあなたにどのくらいあてはまりますか。【出典】:地域社会への効力感(谷田,2015)

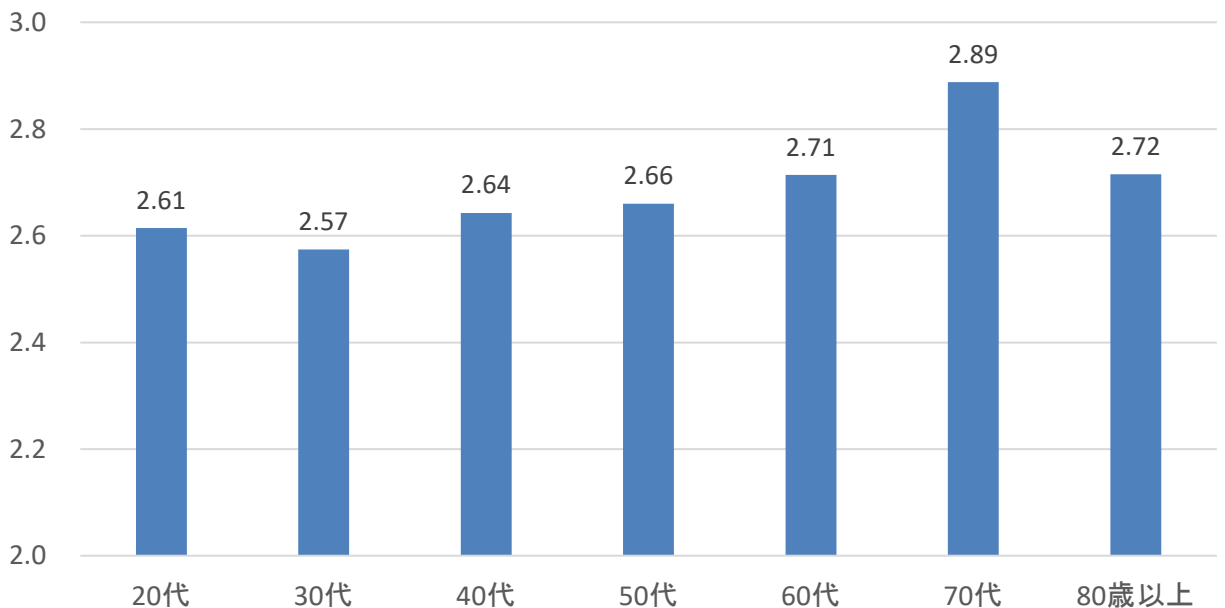
■ 地域の問題を解決したり、地域に貢献したりすることについて自信があるかどうかを「地域社会への効力感」因子を用いて尋ねた。80歳以上の年代以外はほぼ同様の値となった。



(地域への態度に関連する項目)

Q13 次の文章はあなたにどのくらいあてはまりますか。【出典】:地域社会への態度尺度(村山ら,2011)参考に作成

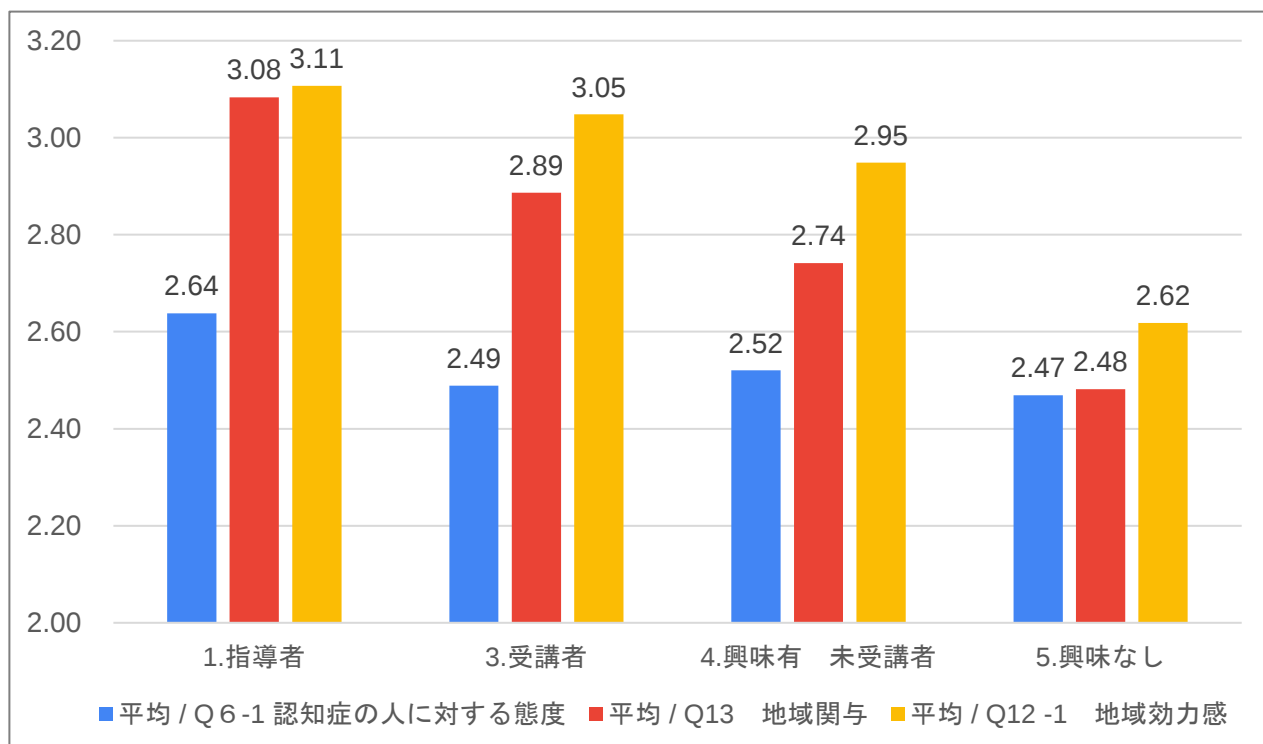
■ 地域への信頼や愛着、近所付き合いの程度を尋ねた項目。80歳代以上では下がっているが概ね70歳代までは年齢が上がるごとに地域社会への信頼や愛着は上がっている。



(認知症に関連する項目)

認知症サポーターへの関与度別認知症の人への態度・地域関与・地域効力感の比較

■認知症サポーターの指導者は全ての項目で一番高く、興味がない人は全ての項目で低い結果となった。認知症サポーターに興味があるが受講していない人と受講している人では、地域への信頼感や地域に対しての効力感に差異があった。



分析Ⅱ（50-60代）

ー全国データとの地域別比較

調査概要

◆実施時期：2021年6月18日～7月31日

◆調査方法と対象：

①アンケート調査：対象は青葉区あざみ野地域の住民（主にあざみ野商店会の関係者、すすき野団地の住民）、その他青葉区、横浜市、川崎市、神奈川県、東京都在住の20歳以上の社会人を対象にした。

②調査方法：回答者には、調査用紙またはGoogle formsによるインターネット調査のいずれかでの回答を依頼した。

◆回収数：529名 有効回答数：493名

すべての調査項目に同じ回答を示した者、未記入が多くある者など、不適切な回答だと判断されたものを除外した。その結果、最終的な分析対象者は493名となった。

1) 年代別・性別

年代	男性	女性	答えたくない	総計
1.20代	28	20		48
2.30代	23	32	1	56
3.40代	25	53	2	80
4.50代	34	52	1	87
5.60代	22	49		71
7.70代	35	73	2	110
8.80歳以上	28	13		41
総計	195	292	6	493

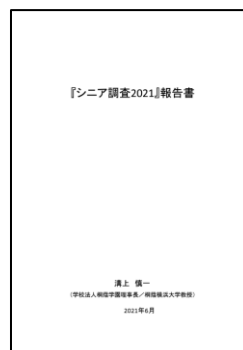
◆分析Ⅱ：分析方法と目的：

上記の有効回答数の中から「青葉区あざみ野」「青葉区すすき野」「青葉区その他」の50代、60代の回答者を抽出し、右に示す「シニア調査2021」の同年齢層データとの比較を行い、あざみ野、すすき野、青葉区その他の地域の人びとの健康等の実態を明らかにすることを目的とした。

	50代	60代	計
青葉区あざみ野	16	11	27
青葉区すすき野	21	38	59
青葉区その他	33	15	48
計	70	64	134

※「シニア調査2021」報告書
(2021年6月25日)

<http://smizok.net/education/>



◆全体的所見

・50代・60代世代について、全国に比べて、青葉区（あざみ野・すすき野）の「健康」「生きがい」「二つのライフ」「パーソナリティ特性（外向性・経験への開かれ）」は高い傾向が認められる。

・60代の「二つのライフ」の「見通しなし」が全国に比べてさほど低くないことから二極化している可能性が考えられる。

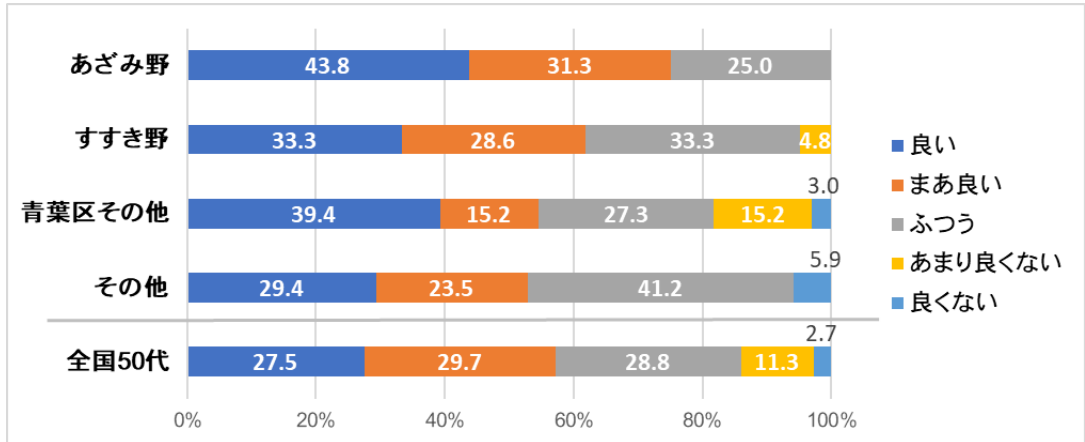
・「二つのライフ」の活動から見る、あざみ野地区の“ボランティアや地域・社会支援”の割合が50代・60代とも高い。

Q8「あなたの現在の健康状態はいかがですか。」

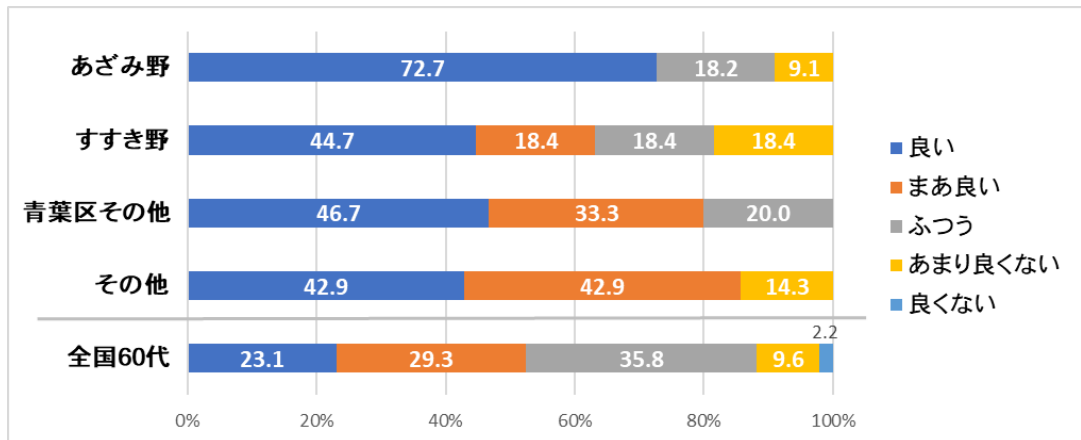
【出典】内閣府『平成29年 高齢者の健康に関する調査結果』（2018年3月）

- “良い” “まあ良い” を合算すると、あざみ野の50代（75.1%、以下同様）、60代（72.7%）はとくに、全国に比べて健康状態が良い（>全国50代57.2%、60代52.4%）。

50代



60代



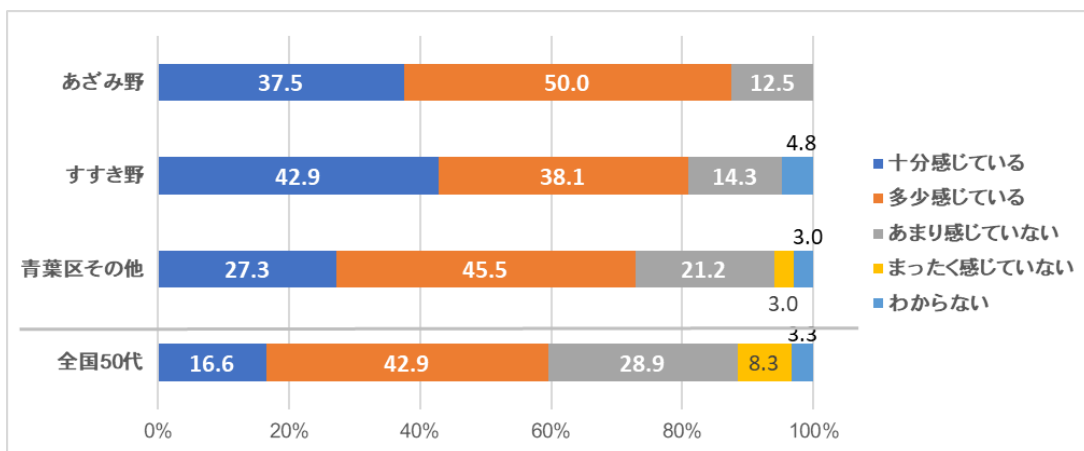
Q9-1「あなたは現在、どの程度生きがい(喜びや楽しみ)を感じていますか。」

【出典】内閣府『平成26年 高齢者の日常生活に関する意識調査結果』(2015年3月)

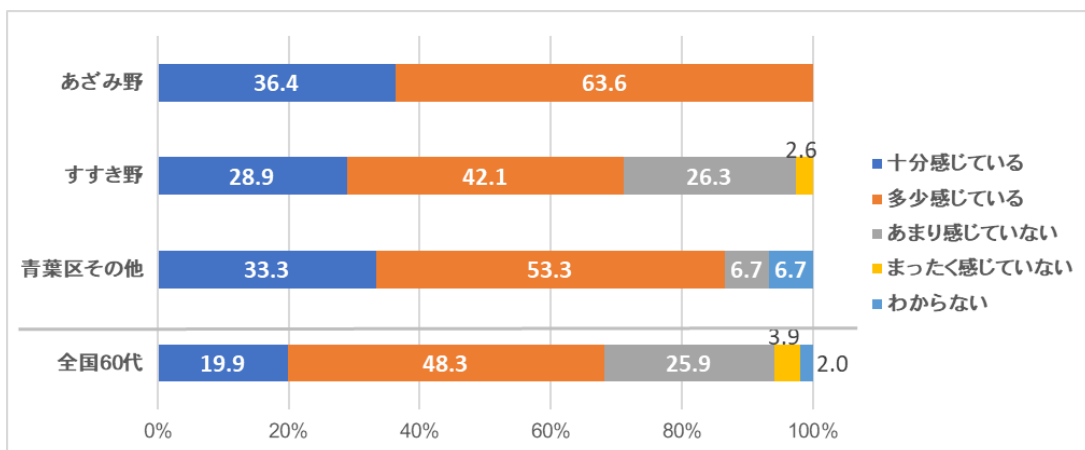
■ “十分感じている” “多少感じている” を合算すると、50代ではあざみ野(87.5%)、すすき野(81.0%)ともに、全国に比べて生きがいを感じている人が多く認められた(>全国59.5%)。

■ 60代では、あざみ野で100%の人が生きがいを感じていると回答した(>全国68.2%)。

50代



60代



Q9-2「どのような時に生きがいを感じますか。」(複数回答可)

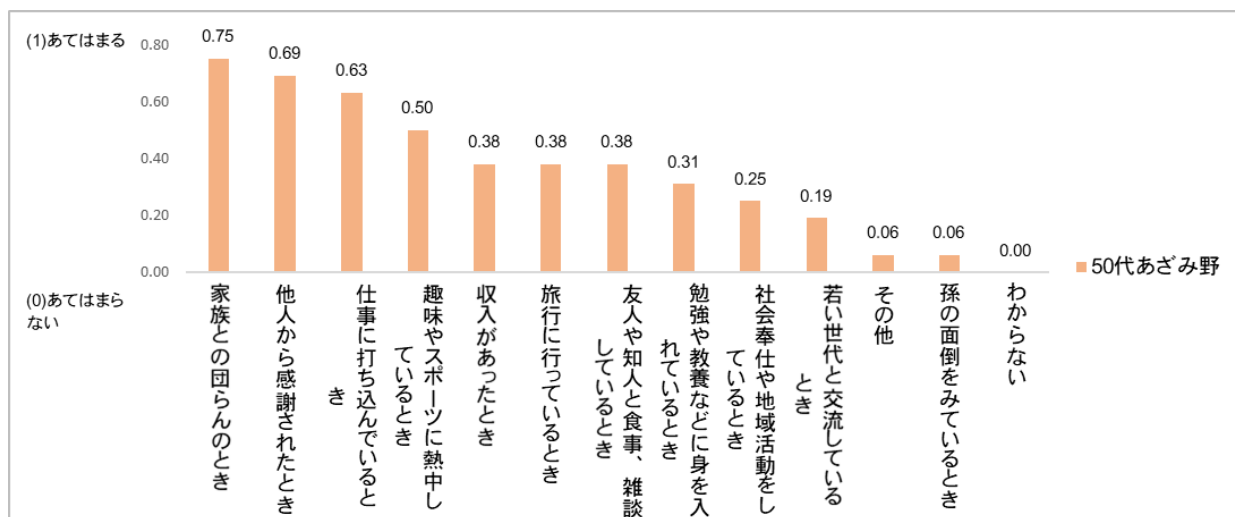
【出典】内閣府『平成26年 高齢者の日常生活に関する意識調査結果』(2015年3月)

■50代：あざみ野では“家族との団らんのとき”“他人から感謝されたとき”“仕事に打ち込んでいるとき”が多く、すすき野では“趣味やスポーツに熱中しているとき”“他人から感謝されたとき”が多かった。“家族との団らんのとき”と“趣味やスポーツに熱中しているとき”は全国でも多く見られた。

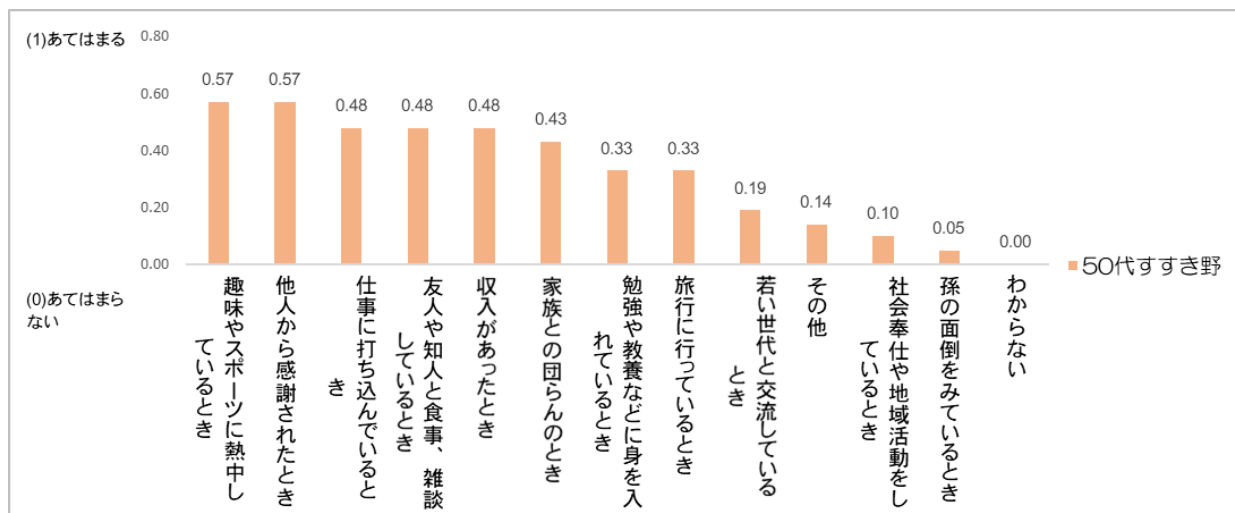
■60代：あざみ野では“趣味やスポーツに熱中しているとき”“家族との団らんのとき”“友人や知人と食事、雑談しているとき”が多く、すすき野では“趣味やスポーツに熱中しているとき”が多かった。“趣味やスポーツに熱中しているとき”“家族との団らんのとき”は全国でも多く見られた。

50代

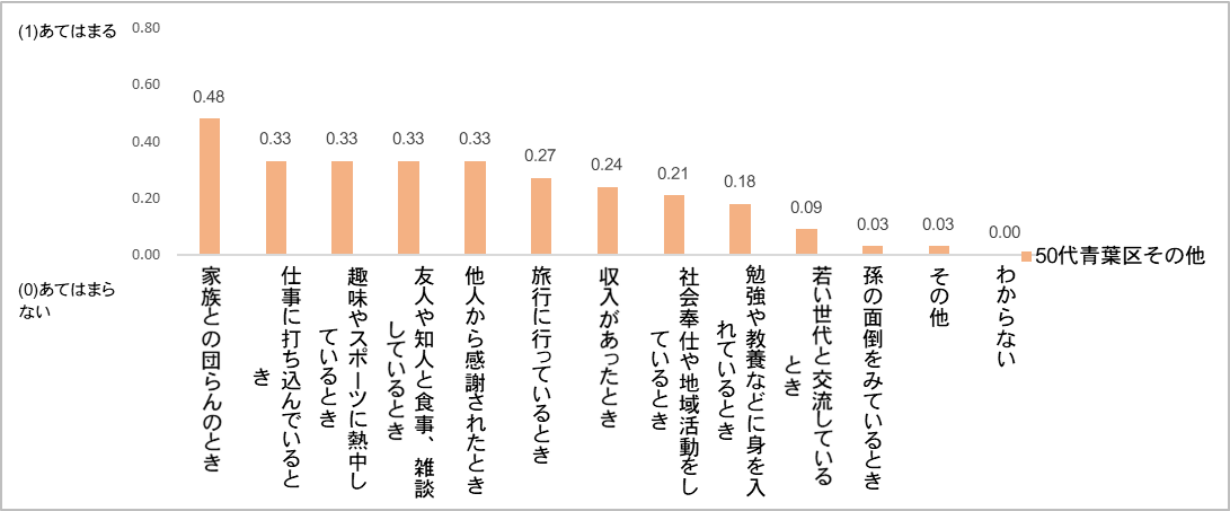
＜あざみ野＞



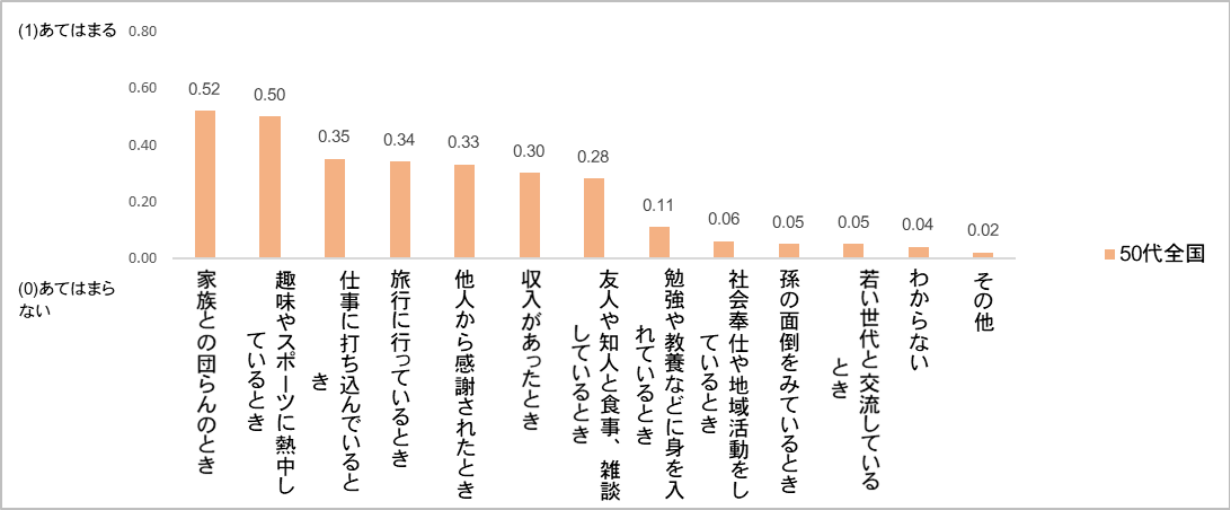
＜すすき野＞



<青葉区その他>

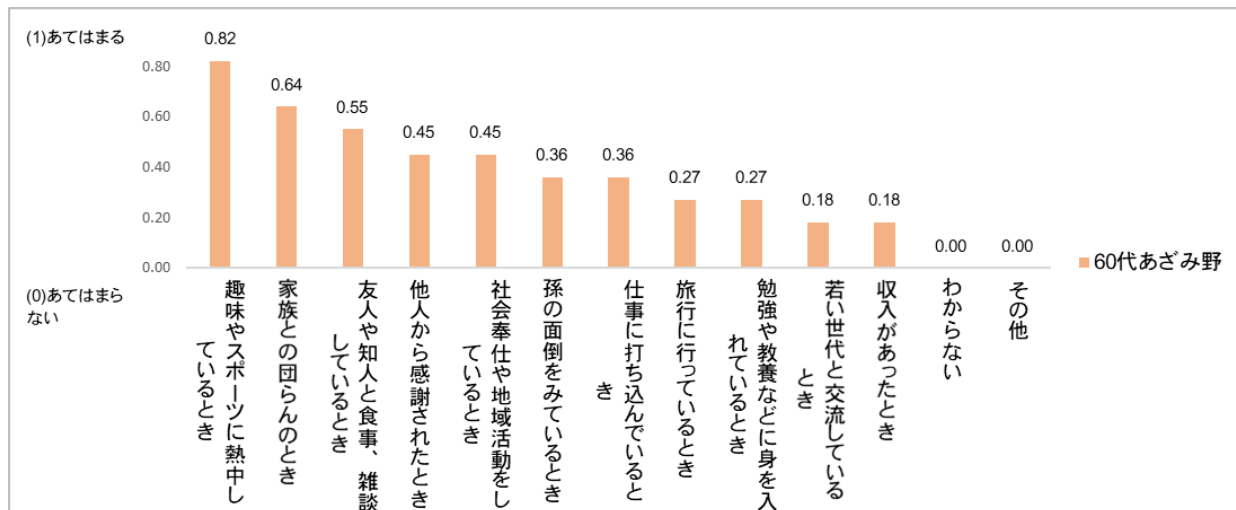


<全国>

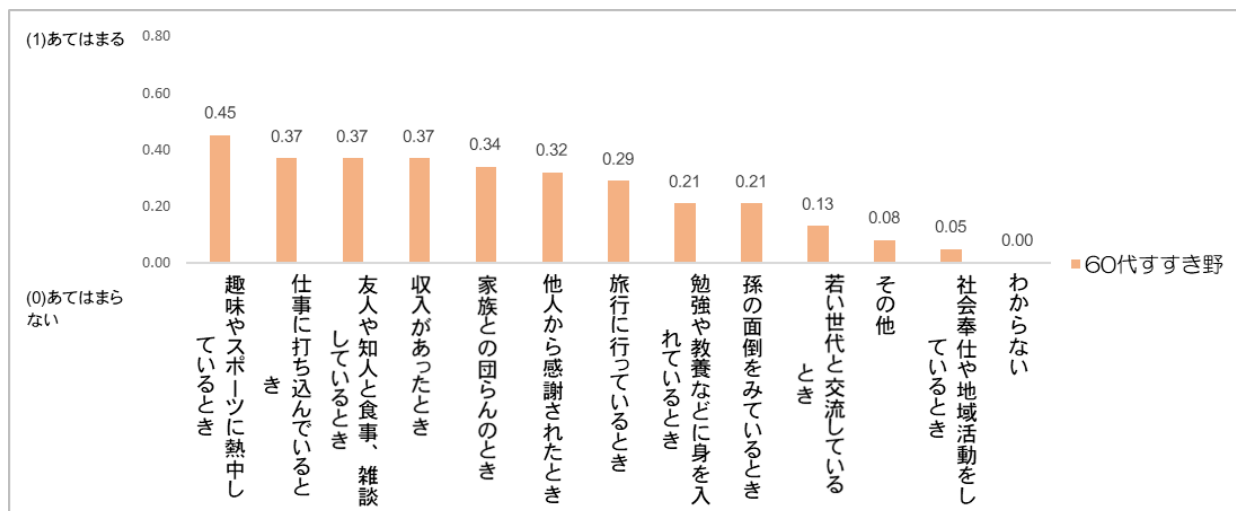


60代

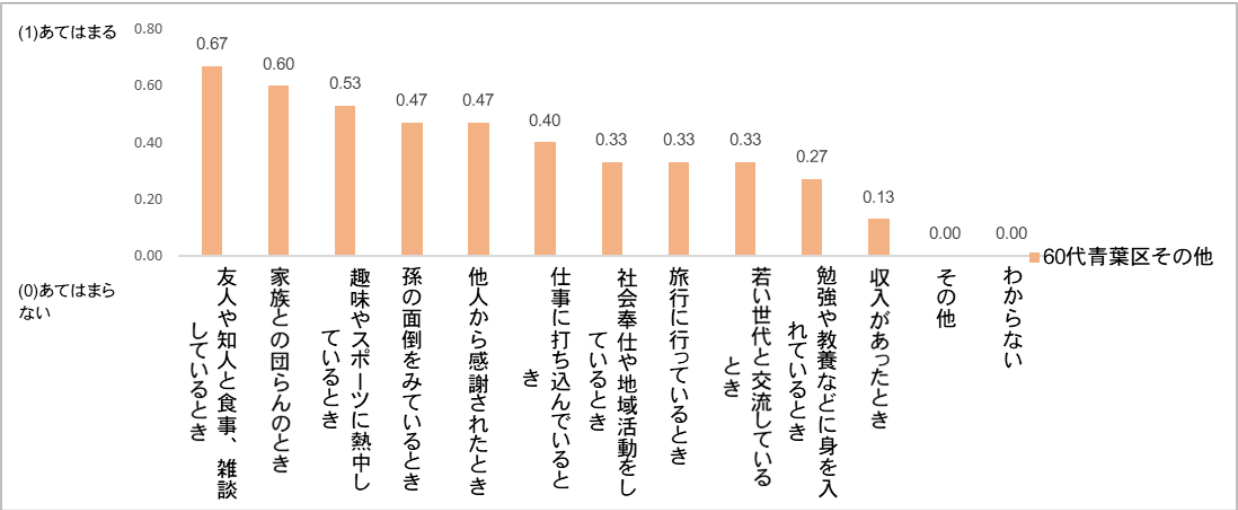
<あざみ野>



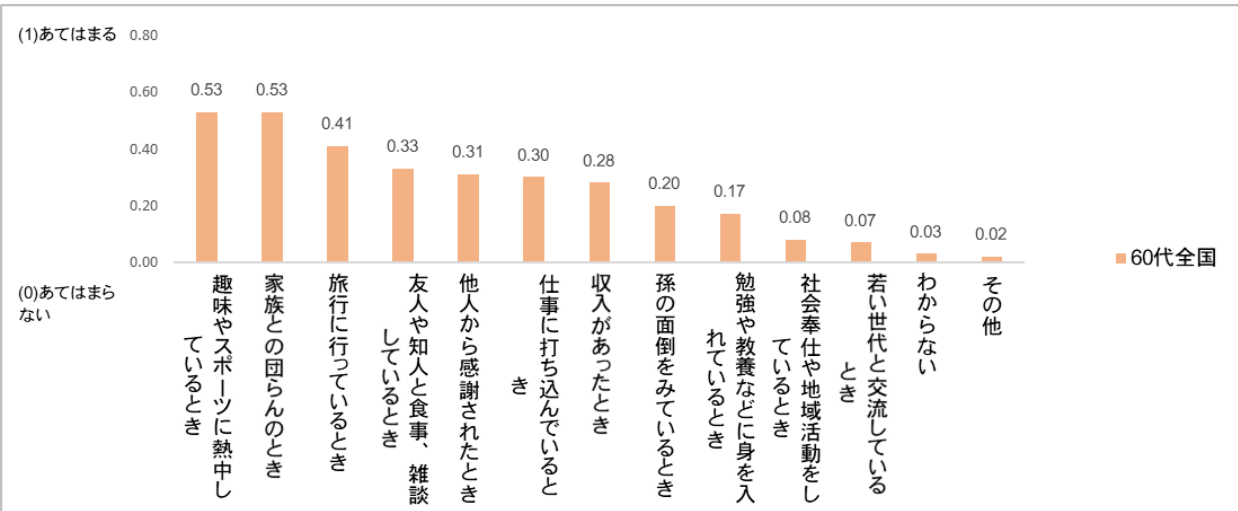
<すすき野>



<青葉区その他>



<全国>



(二つのライフ)

【出典】「シニア調査2021」報告書 <http://smizok.net/education/>

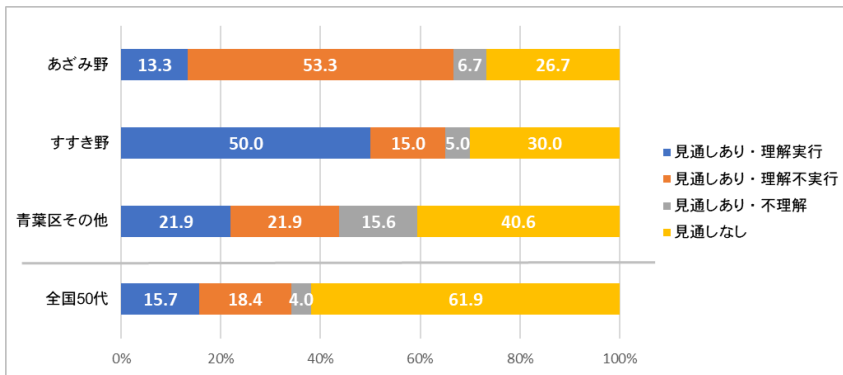
Q11-1「あなたはこれからの人生について、こういう活動をして過ごしたいという見通しを持っていますか。」

Q11-3「あなたは、その見通しの実現に向かって、今自分が何をすべきなのか分かっていますか。またそれを準備・実行していますか。」

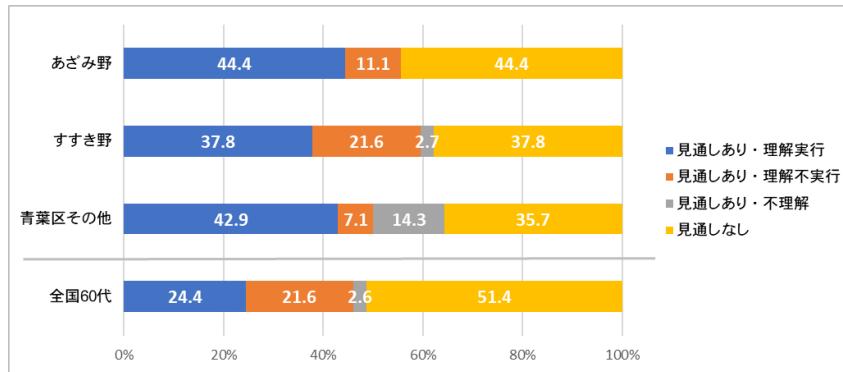
■ 生きがいや充実した人生に繋がると考えられている“見通しあり・理解実行”は、50代ではすすき野でかなり多く認められ（50.0%＞全国15.7%）、60代では、あざみ野・すすき野ともに多く認められる（順に44.4%、37.8%＞全国24.4%）。

■ “見通しなし”は、50代ではあざみ野、すすき野が全国よりもかなり少ない（順に26.7%、30.0%＞全国61.9%）。60代では、全国よりは少ないが、やや多い印象を受ける（順に44.4%、37.8%＞全国51.4%）。

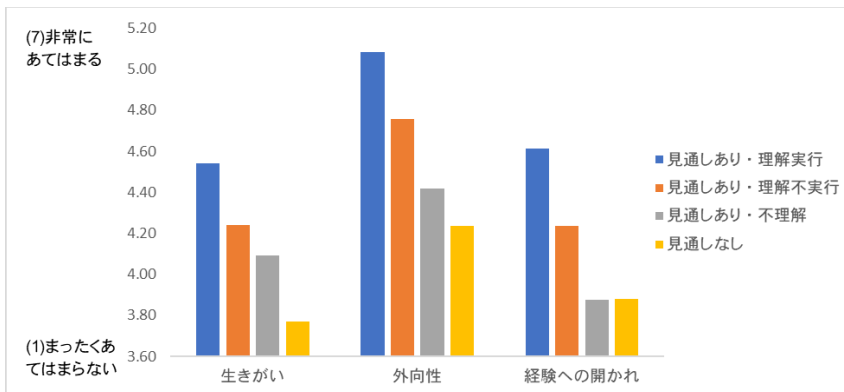
50代



60代



(参考)「二つのライフ」の実現は生きがいや充実した人生に繋がる



(注)縦軸は「パーソナリティ」(外向性・経験への開かれ)の7段階評定(1-7点)に合わせて作成されている。「生きがい」は1-5点である。詳しくは巻末の調査票を参照のこと。

*本調査と同じデータを用いて分析しているが、これまでの研究知見とほぼ同じものが得られている。「外向性」「経験への開かれ」の特徴は、本報告書のQ15の結果を参照のこと。
*「二つのライフ」に関する知見は、大学生を対象にしたものであるが、溝上責任編集(2018)でまとめられている。

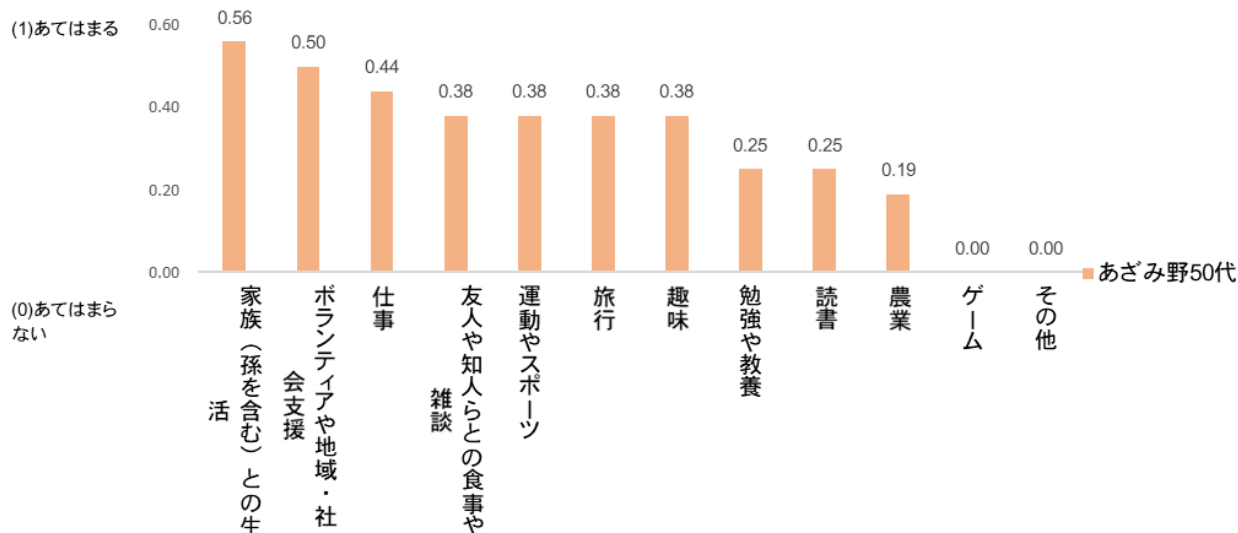
溝上慎一(責任編集) 京都大学高等教育研究開発推進センター・河合塾(編)(2018). 高大接続の本質―「学校と社会をつなぐ調査」から見てきた課題― 学事出版

■50代：あざみ野では“家族（孫を含む）との生活”“ボランティアや地域・社会支援”“仕事”が多く、すすき野では“趣味”“仕事”“家族（孫を含む）との生活”が多かった。“仕事”“家族（孫を含む）との生活”は全国でも多く見られた。

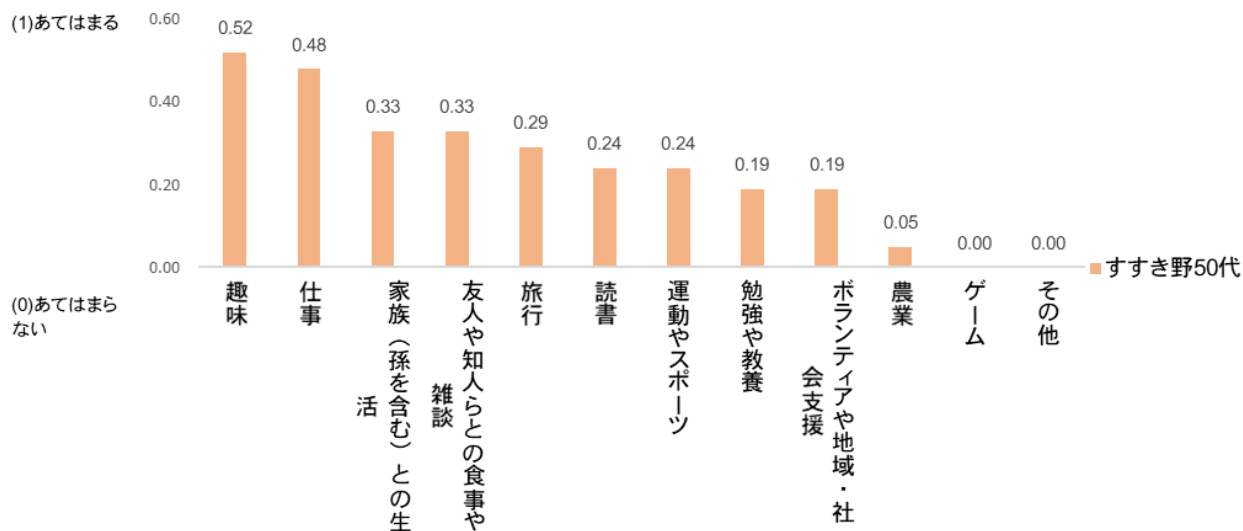
■60代：あざみ野では“仕事”“ボランティアや地域・社会支援”が多く、すすき野では“趣味”“旅行”“運動やスポーツ”が多かった。全国ではすすき野と同様に、“趣味”“旅行”が多く見られた。

50代

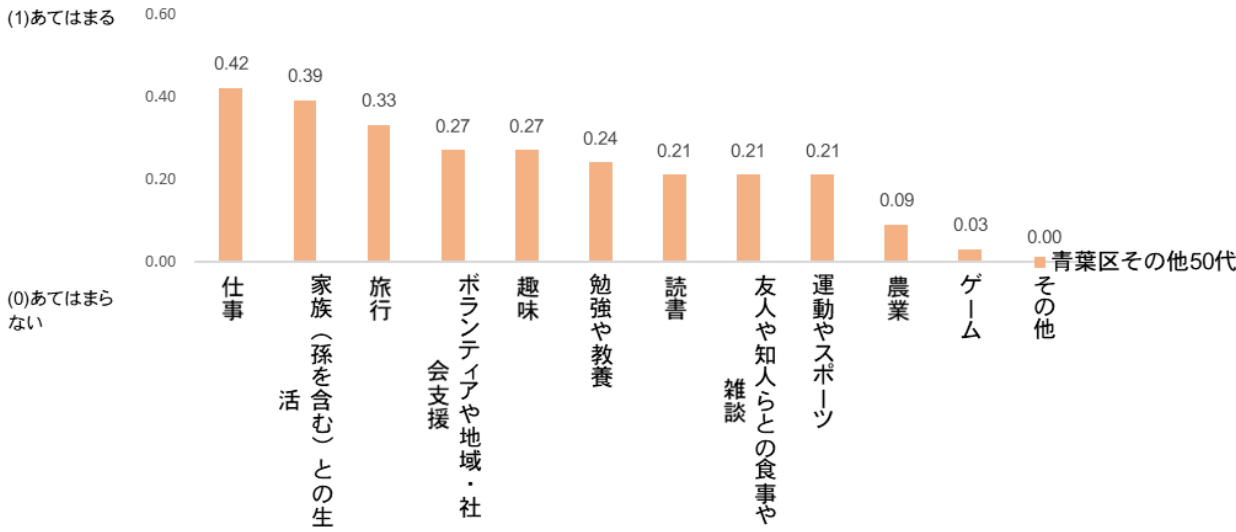
<あざみ野>



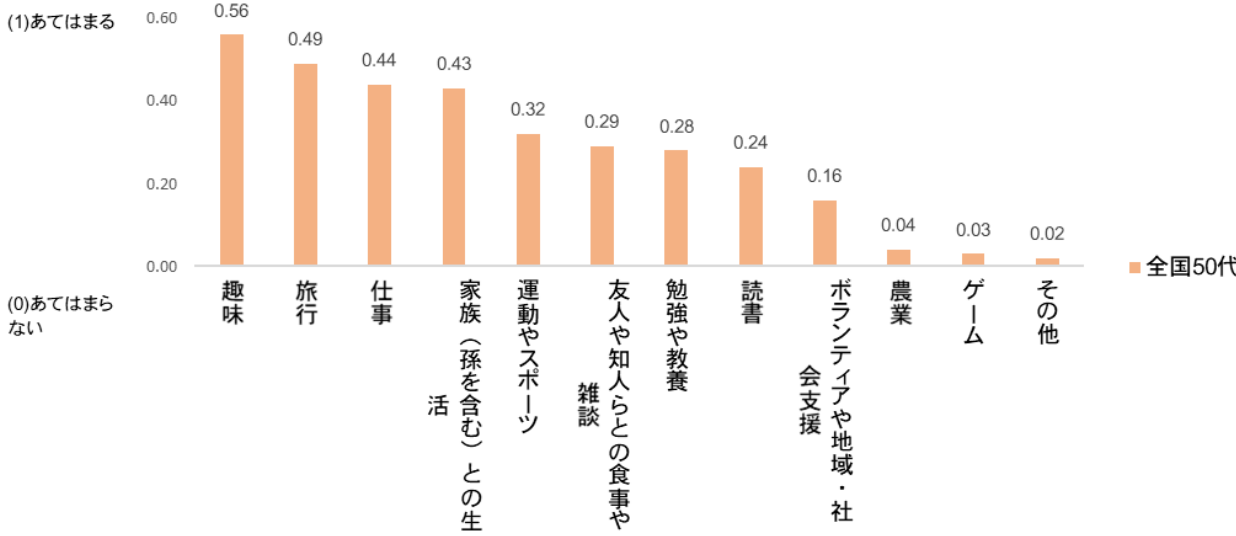
<すすき野>



<青葉区その他>

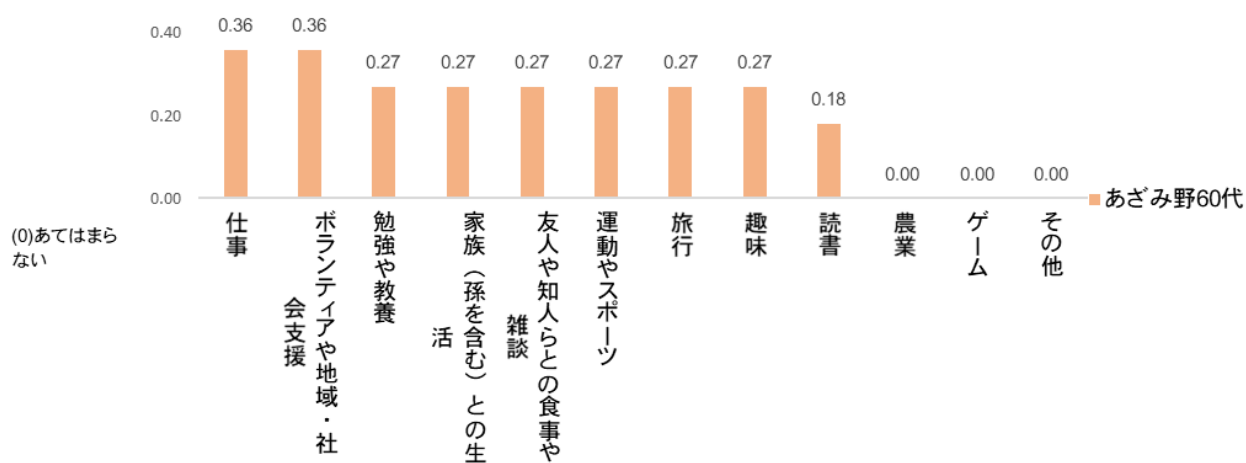


<全国>



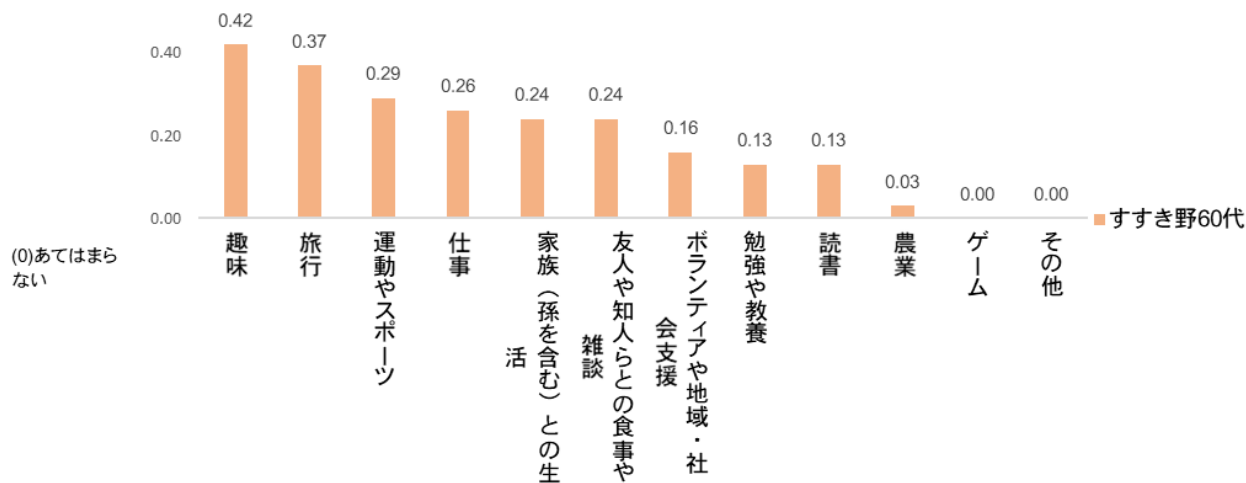
＜あざみ野＞

(1)あてはまる 0.60

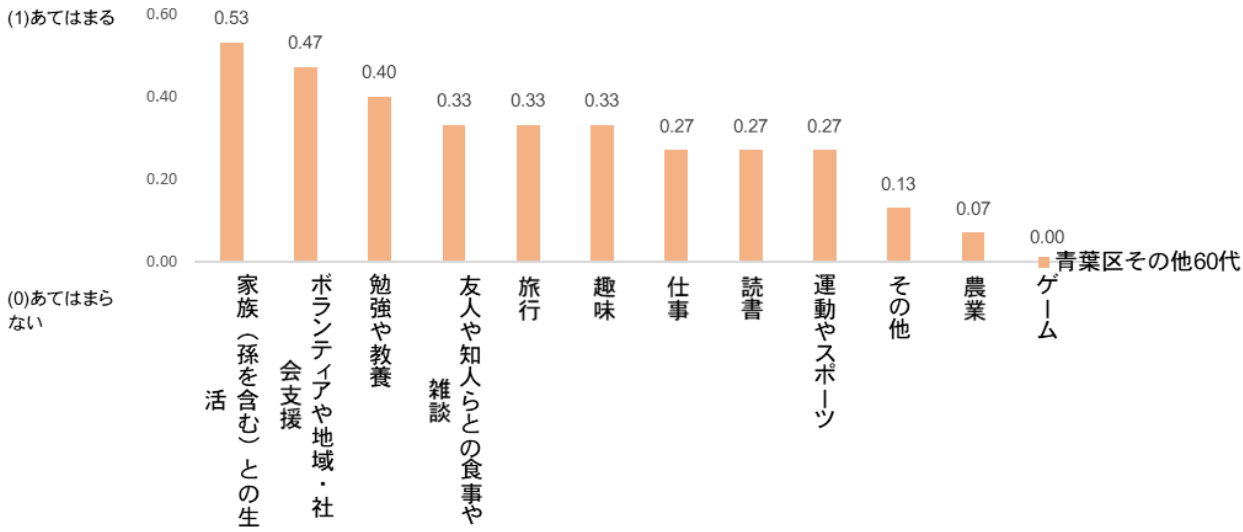


＜すすき野＞

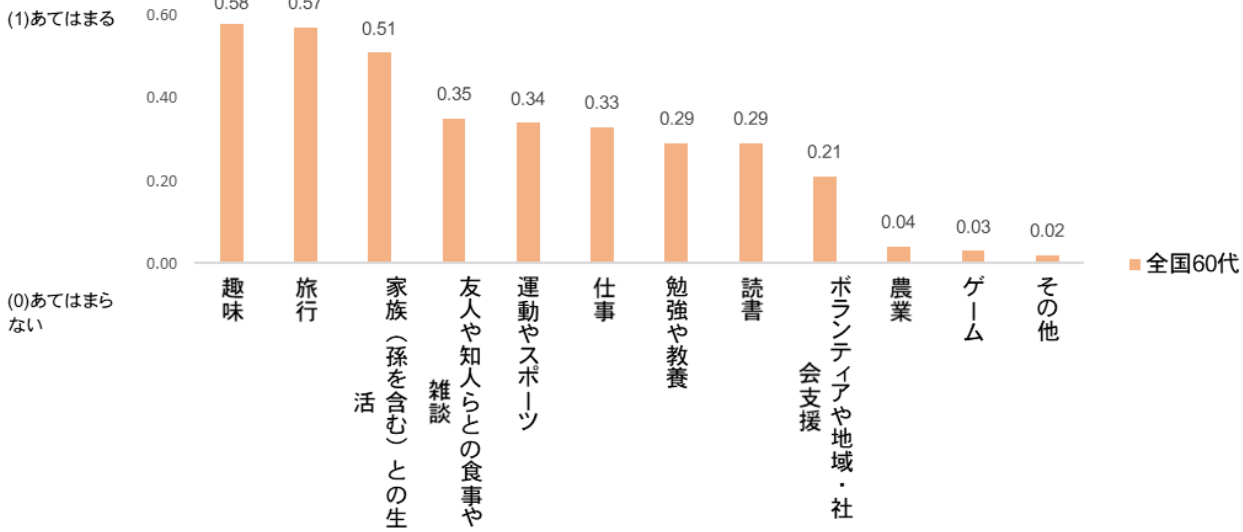
(1)あてはまる 0.60



<青葉区その他>



<全国>



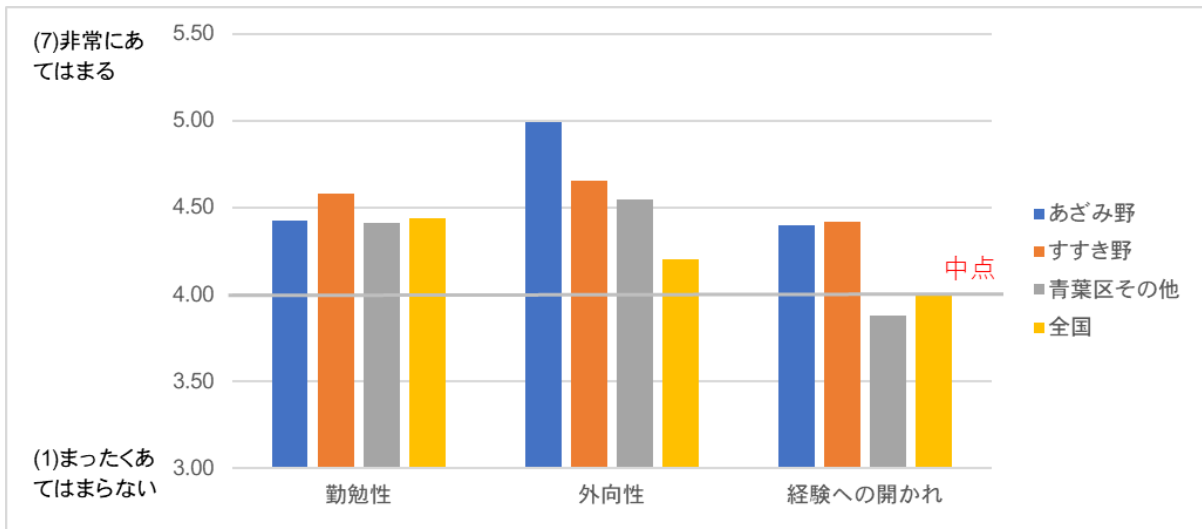
(パーソナリティ・ビッグファイブ)

Q15「以下のことはあなた自身にどのくらいあてはまりますか。」

【出典】和田さゆり(1996). 性格特性用語を用いたBig Five尺度の作成 心理学研究, 67 (1), 61-67.

■シニアや認知症リスク予防ついでの新たな研究課題として、ビッグファイブ (Big Five) と呼ばれるパーソナリティ特性の状態を測定した。これまでの青年期から成人期の研究では、“外向性”や“経験への開かれ”が高いと、人と会ったり社会的活動に従事したりして成長や人生の充実に繋がりやすいことが分かっている (*)。

■50代、60代を合算したデータで分析すると、あざみ野、すすき野は“外向性”“経験への開かれ”ともに全国のそれよりも平均点が高いことがわかる。今後詳細に検討していきたい。



(*) 青年期や成人期を対象にしたパーソナリティ特性の研究は、下記のウェブサイト「溝上の教育論」でこれまでの研究成果やデータによる知見を紹介している。

ウェブサイト「溝上の教育論」 <http://smizok.net/education/>

- ・ (データ) パーソナリティ特性から見る社会人の職場適応や能力 (その1)
- ・ (データ) 大学生の学びと成長をパーソナリティ特性から見る (その2)
- ・ (データ) 非正規従業員のパーソナリティ特性は正規従業員のそれに劣るか (その3)
- ・ (データ) 高校生の学びと成長をパーソナリティ特性から見る (その4)

アンケート調査票

アンケート調査協力をお願い

2021 年 6 月

本調査は、やさしい街あざみ野実行委員会による「認知症の人にやさしい街プロジェクト」の取り組みの一環で行うものです。今回の取り組みは、認知症になっても、質の高い生活を送ることができるように、地域みんなで支え合い、飲食や買い物も、今まで通り楽しめる、「やさしい街あざみ野」になることを目標としています。認知症に関するアンケート調査によってあざみ野の現状を把握し、経年での調査により街の進化の姿を可視化することで、「やさしい街あざみ野」への取り組みを進化させたいと考えております。本調査データはあざみ野を始め地域をより暮らしやすくするための研究に使用されます。回答者のプライバシーの保護に配慮し、ご回答は統計的に処理して研究期間終了後に廃棄します。また、回答内容は個人の不利益になることは一切ありませんので、安心してご回答ください。また、答えたくない質問や途中で不快な気分になった場合は速やかに回答を中止していただいで結構です。

分析結果は地域の改革に役立てていただけるようフィードバックさせていただきます。以上ご理解の上、大変恐縮ですが、ご協力のほどよろしくお願い致します。

< ご記入に当たってのお願い >

回答にかかる時間は 約 10 分です。

- 1) このアンケート用紙は、ご自身にご記入ください。(対象：20 歳以上の方)
- 2) 質問紙は回収後、全て整理番号に従って取り扱いますので、あなたのお名前をアンケート用紙に記入していただく必要はありません。
- 3) 質問への回答は、あてはまる選択肢の番号ごとに○を付けてください。
(複数回答以外は一つだけ○をつけてください)
- 4) ご記入は、鉛筆あるいは黒か青のボールペンなどをお願い致します。回答を訂正する場合は、前の回答を消しゴムで消すか×印をつけるなどして訂正したことを明示してください。
- 5) ご記入が終わりましたら、恐れ入りますが返信用封筒で、この冊子を返送してください。

最終頁の QR コードからの回答も可能です。本用紙または QR のどちらかから回答してください。

返信封筒に封入し

投函してください。

6/30 (水) 必着

お問い合わせ：やさしい街あざみ野実行委員会
「認知症の人にやさしい街プロジェクト」

実行委員長 根岸里香 8341azamino@gmail.com

アンケート実施責任者 桐蔭学園 (武田)

協力：団地管理組合法人すすき野住宅・すすき野自治会

以下の項目であてはまるものの番号に○印をつけてください。

Q1. 認知症の人との関わりについてお教えてください。(複数回答可)

- (1) 身内(同居家族、同居ではない家族、親族)に認知症の人がおり介護中である (いた)
- (2) 身近(近隣、知人、友人)に認知症の人がいて、関わりがある (あった)
- (3) 仕事として認知症の人に関わっている (いた)
- (4) ボランティア活動に関わっている (いた)
- (5) 関りがない

Q2 あなたは、認知症サポーター養成講座をご存知ですか

- (1) はい
- (2) いいえ

Q3 あなたは、認知症サポーター養成講座に参加したことがありますか？いずれかに○印をつけてください。

- (1) 指導者の資格をもっており、指導したことがある。
- (2) 指導者の資格をもっているが、指導したことはない。
- (3) 指導者の資格はないが、受講したことがある。
- (4) 興味はあるが受講したことがない。
- (5) 興味がない。

Q4	認知症に関する以下の項目についてどのように思いますか？ いずれかに○印をつけてください。(○は横に一つ)	正しい	誤り
1	脳の老化によるものなので年を取ると誰もがなる。	1	2
2	認知症の人は、急かされたり、注意を受けたりするときは混乱を感じる。	1	2
3	不安や混乱を取り除くには、なじみのある環境作りが有効である。	1	2
4	介護者の関わり方により、症状が悪化したり、よくなったりする。	1	2
5	認知症か否かを症状だけで推測するのは不可能である。	1	2

Q5	若年性認知症に関する以下の項目についてどのように思いますか？ いずれかに○印をつけてください。(○は横に一つ)	正しい	誤り
1	若年性認知症とは 65 歳未満で発症した認知症の総称である。	1	2
2	若年性認知症と高齢者の認知症の症状は同じである。	1	2
3	早期発見、早期治療により自分らしく生活することが可能である。	1	2
4	高齢の認知症とは異なり、家庭内での課題が多い(夫婦関係、経済的、養育、教育、結婚等)	1	2
5	若年性認知症の病気の進行スピードは高齢者の認知症に比べて遅い。	1	2

Q6	認知症の人に対する態度で以下の項目についてどのように 思いますか？ いずれか1つに○印をつけてください(○は 横に一つ)	全 く そ う 思 わ な い	あ ま り そ う 思 わ な い	や や そ う 思 う	非 常 に そ う 思 う
1	認知症の人でも周りの人と仲良くする能力がある。	1	2	3	4
2	認知症の人と喜びや楽しみを分かち合える。	1	2	3	4
3	認知症の人でも地域活動に参加した方がよい。	1	2	3	4
4	家族が認知症になったら、世間体や周囲の目が気になる。	1	2	3	4
5	認知症の人にどのように接したらよいか分からない。	1	2	3	4

Q7 インターネットやSNS（Facebook やLINE、Twitter、Instagram など）はどの程度利用されていますか。いずれか1つに○印をつけてください。

- (1) ほぼ毎日
- (2) 1週間に3日程度
- (3) 1週間に1日程度
- (4) 1ヶ月に1, 2回程度
- (5) めったに使わない/持っていない

Q8 あなたの現在の健康状態はいかがですか。いずれか1つに○印をつけてください。

- (1) 良い
- (2) まあ良い
- (3) ふつう
- (4) あまり良くない
- (5) 良くない

Q9-1 あなたは現在、どの程度生きがい（喜びや楽しみ）を感じていますか。いずれか1つに○印をつけてください。

- (1) 十分感じている
- (2) 多少感じている
- (3) あまり感じていない
- (4) まったく感じていない
- (5) わからない

【Q 9-1 で(1)(2)と答えた方にお尋ねします】

Q 9-2 どのような時に生きがいを感じますか。(複数回答可)

- (1) 仕事に打ち込んでいるとき
- (2) 勉強や教養などに身を入れているとき
- (3) 趣味やスポーツに熱中しているとき
- (4) 孫の面倒をみているとき
- (5) 家族との団らんのとき
- (6) 友人や知人と食事、雑談しているとき
- (7) 社会奉仕や地域活動をしているとき
- (8) 旅行に行っているとき
- (9) 他人から感謝されたとき
- (10) 収入があったとき
- (11) 若い世代と交流しているとき
- (12) その他 ()
- (13) わからない

Q10	次の文章はあなたにどのくらいあてはまりますか。あてはまる番号に○印を1つ付けてください。(○は横に一つ)	全くあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	ややあてはまる	非常にあてはまる
1	全般的に見て、わたしは自分のことを幸福な人間であると考えている。	1	2	3	4	5
2	自分と同年代の人と比べて、自分はより幸福な人間であると考えている。	1	2	3	4	5
3	全般的に見て、非常に幸福な人たちがいます。この人たちはどんな状況の中でもそこで最良のものを見つけて人生を楽しむ人たちです。あなたにあてはまりますか。	1	2	3	4	5
4	全般的に見て、非常に不幸な人たちがいます。この人たちは、うつ状態にあるわけではないのに、はたから考えるよりもまったく幸せではないようです。あなたにあてはまりますか。	1	2	3	4	5

Q11-1 あなたはこれからの人生について、こういう活動をして過ごしたいという見通しを持っていますか。

- (1) 持っている
- (2) 持っていない

【Q11-1 で(1)と答えた方にお尋ねします。】

Q11-2 その活動はどのようなものですか。(複数回答可)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| (1) 仕事 | (2) 勉強や教養 |
| (3) 読書 | (4) ボランティアや地域・社会支援 |
| (5) 農業 | (6) 家族(孫を含む)との生活 |
| (7) 友人や知人らとの食事や雑談 | (8) 運動やスポーツ |
| (9) 旅行 | (10) 趣味 |
| (11) ゲーム | (12) その他() |

【Q11-1 で(1)と答えた方にお尋ねします。】

Q11-3 あなたは、その見通しの実現に向かって、今自分が何をすべきなのか分かりますか。またそれを準備・実行していますか。あてはまる項目の番号に○印を1つ付けてください。

- (1) 何をすべきか分かっているし、準備や実行もしている
- (2) 何をすべきかは分かっているが、準備や実行はできていない
- (3) 何をすべきかはまだ分からない

Q12	次の文章はあなたにどのくらいあてはまりますか。あてはまる番号に○印を1つ付けてください。(○は横に一つ)	あてはまらなく まったく	あてはまらない あまり	い どちらともいえない	ややあてはまる	非常にあてはまる
1	地域の中の問題を解決するために、何かができる	1	2	3	4	5
2	地域社会のために役割を分担し、果たすことができる	1	2	3	4	5
3	地域のために何かする力が自分にあると思う	1	2	3	4	5
4	自分が地域社会のために何ができるか、考えられる	1	2	3	4	5

Q13	次の文章はあなたにどのくらいあてはまりますか。あてはまる番号に○印を1つ付けてください。(○は横に一つ)	ない まったく	い あまりない	ある まあまあ	とてもある
1	近所づきあいがありますか	1	2	3	4
2	地域への信頼感がありますか	1	2	3	4
3	地域への誇りや愛着のようなものを感じますか	1	2	3	4
4	なんらかの地域活動に参加することがありますか	1	2	3	4

Q14 どのような地域イベントや活動なら、参加したいですか？

Q 15	以下のことはあなた自身にどのくらいあてはまりますか。あてはまる項目の番号に○印を1つ付けてください。(○は横に一つ)	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	少しあてはまらない	どちらともいえない	少しあてはまる	まあまああてはまる	非常にあてはまる
(1)	話し好き	1	2	3	4	5	6	7
(2)	独創的な	1	2	3	4	5	6	7
(3)	いい加減な	1	2	3	4	5	6	7
(4)	無口な	1	2	3	4	5	6	7
(5)	多才な	1	2	3	4	5	6	7
(6)	ルーズな	1	2	3	4	5	6	7
(7)	陽気な	1	2	3	4	5	6	7
(8)	進歩的	1	2	3	4	5	6	7
(9)	怠惰な	1	2	3	4	5	6	7
(10)	外向的	1	2	3	4	5	6	7
(11)	洞察力のある	1	2	3	4	5	6	7
(12)	成り行きまかせ	1	2	3	4	5	6	7
(13)	暗い	1	2	3	4	5	6	7
(14)	想像力に富んだ	1	2	3	4	5	6	7
(15)	不精（ぶしょう）な	1	2	3	4	5	6	7
(16)	無愛想な	1	2	3	4	5	6	7
(17)	美的感覚の鋭い	1	2	3	4	5	6	7
(18)	計画性のある	1	2	3	4	5	6	7

Q 15	以下のことはあなた自身にどのくらいあてはまりますか。あてはまる項目の番号に○印を1つ付けてください。(○は横に一つ)	あてはまる まったく あてはまらない	あまり あてはまらない	少し あてはまらない	どちらとも いえない	少し あてはまる	まあまあ あてはまる	非常に あてはまる
(19)	無頓着な	1	2	3	4	5	6	7
(20)	頭の回転の速い	1	2	3	4	5	6	7
(21)	軽率な	1	2	3	4	5	6	7
(22)	人嫌い	1	2	3	4	5	6	7
(23)	臨機応変な	1	2	3	4	5	6	7
(24)	勤勉な	1	2	3	4	5	6	7
(25)	活動的な	1	2	3	4	5	6	7
(26)	興味の広い	1	2	3	4	5	6	7
(27)	無節操	1	2	3	4	5	6	7
(28)	意思表示しない	1	2	3	4	5	6	7
(29)	好奇心が強い	1	2	3	4	5	6	7
(30)	几帳面（きちょうめん）な	1	2	3	4	5	6	7
(31)	積極的な	1	2	3	4	5	6	7
(32)	独立した	1	2	3	4	5	6	7
(33)	あきっぽい	1	2	3	4	5	6	7
(34)	地味な	1	2	3	4	5	6	7
(35)	のみこみのはやい	1	2	3	4	5	6	7
(36)	社交的	1	2	3	4	5	6	7

☆ 最後にこのアンケートを分析するために ご自身のことをお尋ねします。

F 1. あなたは現在おいくつですか。	()歳 *20 歳以上の方にご協力いただいています							
F 2. 性別を教えてください。	1. 男性 2. 女性 3. 答えたくない							
F 3. ご自宅の郵便番号をお教えてください	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							
F 4. あなたの家族構成をお教えてください。	1. 一人暮らし 2. 夫婦のみ 3. 親と子のみ世帯 4. 三世代 5. 四世代 6. その他 ()							
F 5. あなたのご所属をお教えてください	(1) 自営・経営者 (2) 会社員・公務員・団体職員などの正規従業員 (3) 嘱託・契約・派遣社員等の非正規従業員 (4) パート・アルバイト (5) 主婦・夫 (6) 学生 (7) 無職 (8) その他 ()							

記入漏れがないかをご確認の上、提出してください。ご協力ありがとうございました。

以下の QR からお答えいただいても結構です。

この用紙または QR のどちらかよりお答えください。



プロジェクト組織

- やさしい街あざみ野実行委員会「認知症の人にやさしい街プロジェクト」
(2021年9月末現在)

根岸里香	鈴木和土	白藤香織
黒沼勤	田中邦一	北嶋克悦
小柴健一	尾辻哲	外山勝久
大島幸徳	大平綾子	林月子
藤崎浩太郎	山崎健一	横井勝
安生敏弘	根岸千陽	樋口真実
浜田悦子	石井要美	野本建夫
高木美奈子	柳川晶子	青砥正典
田中浩介	岩崎洋斗	石渡仁
土屋環	原田由布子	小川三佳子
今田有紀	宮野律子	
土本和孝	沖横田麻菜	
小枝輝久		

(協力) 学校法人桐蔭学園 (やさしい街あざみ野実行委員会)

溝上慎一

武田佳子・宮津大蔵 菰口幹生

桐蔭横浜大学 (学生) : 村上 草太・鈴木 拓樹・石川 勝利・東野 聖・金田 理央・
杉原 沙英・戸倉 由喜・清水 拓光・中畑 撤汰・東原 陸

『青葉区あざみ野地域アンケート調査2021』報告書

2021年(令和3年)12月31日

編集・発行: やさしい街あざみ野実行委員会

E-mail 8341azamino@gmail.com

学校法人桐蔭学園

〒225-8502 横浜市青葉区鉄町1614 学校法人桐蔭学園

TEL: 045-975-2100 E-mail transition@toin.ac.jp